

一般社団法人日本解剖学会 2015年(平成27年)度第1回常務理事会議事録

日時：平成27年1月24日(土) 11:00～13:20

場所：八重洲ダイビル(第2会議室)

出席者：河田光博(理事長)、寺田純雄、仲嶋一範、藤本豊士、渡辺雅彦(以上常務理事)、松崎利行(常任幹事)、天野恵子、中村 聡(以上、口腔保健協会)

欠席者：阪上洋行(常任幹事)

I. 理事長 挨拶

河田理事長より挨拶があった。

II. 会議記録の確認

以下の確認がおこなわれた。

- (1) 2014年(平成26年)度第5回常務理事会(平成26年12月20日開催)議事録(案)
- (2) 2014年(平成26年)度第4回理事会(平成26年12月20日開催)議事録(案)
- (3) 2015年(平成27年)度第1回理事会(平成27年1月15～16日開催)議事録(案)

III. 報告事項

1. 庶務報告(渡辺庶務担当理事)

(1) 会員異動報告

資料に基づき、以下の通り報告があった。

平成26年12月分

入会者：なし

退会者：正会員16名、学生2名、代議員2名、賛助会員1社

逝去会員3名

京田直文氏(正会員)(享年91歳)

土屋泰規氏(朝日医療専門学校岡山校 正会員)(享年42歳)

佐藤亨氏(日本歯科大学・元学長 永年会員)(享年84歳)

佐藤亨氏の追悼文執筆者として佐藤巖先生(日本歯科大学)に依頼することとした。

新規就任教授

宇佐美昌信先生(奥羽大学歯学部 生体構造学講座 口腔解剖学分野・教授 平成26年4月1日就任)

(2) 学会宛文書類について

資料に基づき、以下の通り報告があった。

①通知・依頼

日本医学会より 「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の公布について(通知) 他17件

②書籍、定期通信 他

第34回人体解剖トレーニングセミナーより 報告書 他9件

(3) 年会費納入状況について(長期未納者の除名について)

資料に基づき、年会費納入状況について報告があり、以下の点が確認された。

①3年以上未納者には雑誌の発送を停止している。

②4年未納者は退会となるが、代議員の3年以上未納者については理事会で報告し、支部長から声をかけてもらう。

③未納者リストは3月の総会・学術集会で掲示する。

(4) 各種委員会報告について

平成27年度定時社員総会の資料に基づき、各種委員会報告があった。

(5) 平成27年度定時社員総会の資料作成について

平成27年度定時社員総会の資料作成状況について説明があり、以下の点が追加・確認された。

①「一般社団法人日本解剖学会利益相反に関する規程」に関して、解剖学雑誌とASI投稿時の利益相反状況申請書提出については別途定める旨を追記する。

②「一般社団法人日本解剖学会委員会設置規程」に関して、利益相反委員会は倫理委員会とは別委員会とするが、委員は兼任とする。

(6) 平成27年度定時社員総会の案内と書面表決状について

資料に基づき、平成27年度定時社員総会の案内と書面表決状について説明があった。2月中旬に発

送予定となる。

(7) その他

社員総会の進行について意見が交わされ、以下の点が確認された。

- ①生理学会総会と解剖学会総会が同じ会場で引き続いて開催されることから、総会出席者の確認方法を含め、生理学会の事務局と総会の進行について確認する。
- ②総会での説明は資料とともにパワーポイントを用いる。

2. 編集報告（藤本編集担当理事）

(1) ASI刊行報告

資料に基づき、ASI刊行状況について以下の通り報告があった。

- ①1月15日にASI 90(1)が発送された。ASI 90(1)には平成25年度日本解剖学会奨励賞受賞者4名を含めて5本のreviewが掲載されている。
- ②今後の刊行予定としては3月に解剖学雑誌1・2号、ASI 90(2)、第120回全国学術集会プログラム集が発送予定である。

(2) その他

特になし。

3. 企画・渉外報告（仲嶋企画・渉外担当理事）

(1) 2015(平成27)年度日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況について

資料に基づき、2015(平成27)年度日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況について以下の通り説明があった。

- ①事前参加登録は目標の1500名を上回る1562名であった。
- ②優秀演題賞が選出されホームページに掲載された。
- ③社員総会は3月22日14時から生理学会総会、引き続き15時から解剖学会総会が同じ会場で開催され、両総会に参加できるようにした。

(2) 日本医学会分科会用語委員会報告

資料に基づき、平成26年12月19日に開催された平成26年度日本医学会分科会用語委員会について以下の通り説明があった。

- ①解剖学会からは寺島俊雄先生（神戸大学）が出席した。
- ②日本小児科学会用語ワーキンググループから「『奇形』という医学用語を考える」についての発表があり、ワーキンググループへの参加意思の確認とその際の旅費の負担の可否についての確認の検討依頼があった。

なお、寺田会計担当理事及び事務局からは1～2回の旅費の負担については可能であるとのことであった。

(3) 賞・研究費候補者選考委員会報告

資料に基づき、平成26年度日本解剖学会賞・研究費候補者選考委員会報告について説明があった。

(4) その他

特になし。

4. 会計報告（寺田会計担当理事）

(1) 平成26年度支部学術集会収支報告について

資料に基づき、平成26年度支部学術集会収支報告について説明があり、特に問題はないことが確認された。

(2) 平成26年度決算書概要(案)について

資料に基づき、平成26年度決算書概要(案)について、予算と比較して多寡の大きい項目を中心に説明があった。通常会計の当期収支差額は3,681,059円の黒字であった。おもな点は以下の通り。

収入の部

- ①基本財産預入先を特約付自由金利型定期預金へ変更したことに伴い、受取利息が当初予算を上回った。
- ②受取入金、受取会費についてはほぼ予算通り。
- ③会誌等頒布収入はASI電子ジャーナルの収入が多かったため予算を上回った。
- ④広告掲載収入は大矢商会からの広告掲載収入がまとめて入ったこと等により予算を上回った。
- ⑤技能士審査・登録料収入は希望者の数の変動で予算を上回った。

支出の部

- ①奨励賞、功労賞関係費は人数の関係と表彰状の増刷を見送ったことから予算を下回った。

- ②技能士認定業務費については件数が少なかったため予算を下回った。
- ③ホームページ運営費は更新ページが多かったため予算を上回った。
- ④旅費、交通費は医学会関連の集会参加が増加したため予算を上回った。
- ⑤法人経費は会計監査の報酬のため予算を上回った。
- ⑥雑費はロゴマーク作成費の支出があったこと等により予算を上回った。

特別会計（名簿作成積立金）、及び特別会計（特別事業積立金）の収支決算についても同様に報告があった。前者はワーキンググループへの支出が、後者は全国学術集会余剰金からの収入と2015年解剖生理合同大会準備のための支出が主たる増減であった。

- (3) その他
特になし。

IV. 審議事項

1. 教授就任による代議員について（庶務）

資料に基づき、教授就任による代議員について審議した結果、申請のあった宇佐美昌信先生（奥羽大学歯学部 生体構造学講座 口腔解剖学分野）について承認された。

2. 平成27年度予算(案)について（会計）

資料に基づき、平成27年度予算(案)について、収支の項目ごとに算定根拠等の説明があった。おもな点は以下の通り。

収入の部

- ①基本財産預入先を特約付自由金利型定期預金へ変更したことに伴い、受取利息は前年度より多く計上。
- ②受取入金、受取会費、支部学術集会収入、広告掲載収入は実情に合わせて計上。
- ③会誌等頒布収入はASI電子ジャーナルの売り上げ増に伴い前年度より多く計上。
- ④著者負担金収入は和文誌投稿を停止しているため計上していない。
- ⑤寄付収入、補助金収入、積立資産取崩収入、雑収益は前年度と同様に計上。

支出の部

- ①会誌製作費は発行部数が50部減るので前年度より少なく計上。
- ②会誌編集費は消費税増税分を含め前年度より多く計上。
- ③会誌発送費は会員数減少により前年度より少なく計上。
- ④技能士認定業務費は、予想受験者数と交通費他を勘案し前年度より少なく計上。
- ⑤新たに日本医学会連合分担金として支出を計上。
- ⑥会議費は役員交代の年度にあたるので前年度より多く計上。
- ⑦旅費、交通費は全国学術集会が神戸開催であるので、事務局の出張費として前年度より多く計上。
- ⑧印刷費、通信費は役員選挙が無い年度にあたるので前年度より少なく計上。
- ⑨法人経費は役員登記費用を含むため前年度より多く計上。
- ⑩租税公課は非営利一般社団法人として支払いが減少するため前年度より少なく計上。
- ⑪雑費は学会ロゴマーク採択者への楯の贈呈、技能士認定試験業務への感謝状贈呈に伴い前年度より多く計上。

今年度名簿作成に伴う特別会計（名簿作成積立金）の収支計画、2015年解剖生理合同大会における海外交流関係支出を予定している特別会計（特別事業積立金）の収支計画についても説明があった。

以上の点を踏まえて審議した結果、承認された。

3. 永年会員の推薦について（庶務）

資料に基づき、永年会員の推薦について審議した結果、推挙希望のあった11名について承認された。現時点で本人意思確認がとれていない会員については今後確認をすることとなった。

4. アイヌ遺骨問題への対応について（庶務）

2014年（平成26年）度第4回理事会ならびにメールによる持ち回り理事会の審議に基づいてまとめた、「象徴空間におけるアイヌ遺骨を用いた学術研究に対する日本解剖学会理事会の考え」について審議し、承認された。

5. ロゴマーク使用に関する申し合わせ制定について（企画渉外）

資料に基づき、「一般社団法人日本解剖学会ロゴマーク使用に関する申し合わせ」について審議され、承認された。

6. 解剖体を用いた研究倫理指針について（理事長）
2014年（平成26年）度第4回理事会で承認された「解剖体を用いた研究倫理指針」の今後の対応について検討し、理事会において議論することとした。
7. 次期理事会への申し送り事項について（理事長）
資料に基づき、次期理事会への申し送り事項について審議され、承認された。とくに代議員の資格については継続して検討すべき課題であることが確認された。
8. 次回理事会・常務理事会・支部長会・各種委員会の日程・議事について（理事長）
資料に基づき、以下の通り日程が確認された。
常務理事会 2015年3月20日（金）14：00～15：30 神戸国際会議場
支部長会 2015年3月20日（金）15：30～16：00 神戸国際会議場
理事会 2015年3月20日（金）16：00～18：00 神戸国際会議場
次期常務理事会 2015年3月23日（月）18：00～18：30 神戸国際会議場
次期理事会 2015年3月23日（月）18：30～19：15 神戸国際会議場
各種委員会については2015年3月22日（日）11：30から13：00にかけて神戸商工会議所で開催
9. その他
特になし。